

NARITA AIRPORT MINAMI

2014-15
成田空港南 RC
会長テーマ



昭和41年10月6日設立 / 昭和41年11月21日承認
例会日時 毎週木曜 12:30点鐘
(最終例会 18:30点鐘)
例会場 中国ダイニング富士屋

事務局
〒289-1732 千葉県山武郡横芝光町横芝 1519-6
TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178
第2790地区ガバナー 宇佐見透 第6分区ガバナー補佐 諏訪武士

URL <http://www.narita-airport-m-rc.jp>
e-mail info@narita-airport-m-rc.jp

平成26年11月13日発行 NO.2112 第2240例会 会長 行木 英夫 幹事 小川 佐内 会報委員長 小杉 秀文

例会報告(平成26年11月13日)

「会員推薦」

ガバナー公式訪問

(中国ダイニング富士屋)

11:00~12:00 懇談会

ガバナー・ガバナー補佐・会長・幹事・会長エクト・副幹事

例会

12:30 点鐘

行木会長

「君が代」ロータリーソング 斉唱「奉仕の理想」

「四つのテスト」唱和

内田会員

ご来訪者紹介

行木会長

認証品・感謝状贈呈

会員推薦 向後雅生会員・古西弘和会員

寄付 椎名鎌一郎会員(M PHF4回目)

内田裕雄会員(M PHF3回目)

奥様誕生祝 青柳誠夫人光子様

会長挨拶・会務報告

行木会長

幹事報告

小川幹事

各委員会報告

ガバナー補佐挨拶

ガバナー補佐諏訪武士様

基調講演(卓話)

ガバナー宇佐見透様

ニコニコボックス

親睦委員

出席報告

出席委員

13:30 点鐘(写真撮影)

行木会長

クラブ協議会

13:40 開会

15:00 閉会

15:30 懇親会(あづま庵)

乾杯のご発声 第47代会長 石田喜一会員

17:30 終了



諏訪 GA / 向後会員 / 宇佐見 G / 古西会員 / 行木会長

「会員結婚記念祝」



諏訪 GA / 内田会員 / 椎名会員 / 宇佐見 G / 行木会長

「奥様誕生祝」



青柳会員 / 行木会長

会長挨拶



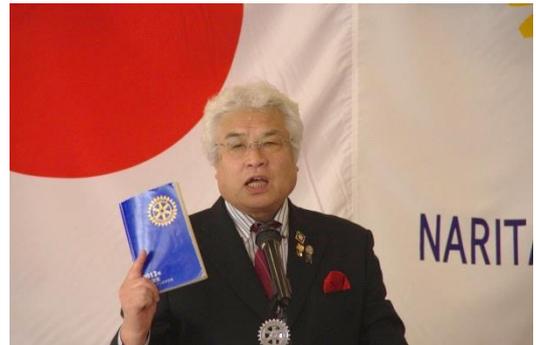
皆さん、こんにちは、本日は、クラブにとりまして、大変大切な行事であります、ガバナー公式訪問です。6 分区は当クラブが最後であり公式訪問も後半戦だと思いますが、宇佐見ガバナー・諏訪ガバナー補佐におかれましては、お疲れのところ、成田空港南ロータリークラブまでお越しいただき、本当に有難うございます。本日は、よろしくお願ひ致します。例会前に、宇佐見ガバナー、諏訪ガバナー補佐を迎え、会長幹事、会長エレクトそして副幹事との懇談会が行われ、RI、地区方針そしてクラブに対する御指導を頂きました。今後のクラブ運営に生かしていきたいと思ひます。さて、先月私は体調不良の為、ガバナー補佐訪問にも欠席し、補佐には大変申し訳ありませんでした。顔面麻痺という、この病気で一番心配したことは、麻痺で一時、笑う事が出来なくなった時です。今は何とか、引き攣りながらも笑う事が出来る様になりました。アリストテレスは「人間だけが笑う動物である」と述べていますが、確かに人は、いろんな笑顔によりコミュニケーションをとる動物です。統計によりますと、笑顔の数は、人間 1 日当り平均、子供で 200 回～150 回位、大人で 20 回～15 回位とだんだん少なくなるそうですが、宇佐見ガバナーをはじめ、歴代のガバナーの皆さんは、素晴らしい笑顔だといつも感じております。ロータリアンは笑顔で自信を持って、奉仕の理念を実践する事が大変大事だと思ひました。この後、宇佐見ガバナーより「原点回帰」を目指して、というテーマにての卓話が予定されております。宇佐見透ガバナーの少年時代の熱い思いが聞けると思ひます。よろしくお願ひ致します。本日は例会終了後クラブ協議会が開催されます。宇佐見ガバナーには御指導の程よろしくお願ひ致します。

幹事報告

- ①例会変更のお知らせ
・八日市場RC ・大網RC
- ②ガバナー事務所より 11/14 広報公共イメージ委員会「記念講演会」のご案内が届いております。
- ③次年度「ガバナー訪問」についての提案のお知らせが届いております。

卓話

「原点回帰」を目指して



国際ロータリー第 2790 地区 2014-15 年度
ガバナー 宇佐見 透 様
成田空港南ロータリークラブの皆様改めましてこんにちは。今年度 2790 地区ガバナー職を務めさせて頂いております宇佐見と申します。所属は千葉幕張ロータリークラブです。

皆様にはいつも御協力賜りありがとうございます。本日公式訪問させて頂きましたのは、2014-15 年度国際ロータリー会長ゲイリーホァン氏が提唱されましたテーマ「Light Up Rotary」を一刻も早く皆様にお伝えし、今年度方針にもとづきロータリーの目的を推進頂くよう結束頂きたく直接お話しさせて頂こうとの思いで公式訪問させて頂きました。既に 3 月 8 日に開催しましたリーダーセミナー、3 月 29 日に開催しました PETS、そして 4 月 29 日に開催しました地区研修・協議会といういわゆる 3 大セミナーに行木会長、小川幹事を初めクラブ指導者である各委員長の方々にご参加頂き、皆様を通じてご理解を頂いたうえで、スタートをされておられると思ひます。

ガバナーという身に余る職責ではありますが、誠心誠意努力致しますのでご支援ご協力の程お願ひ申し上げます。

2000 年に R I より地区に対し DLP (ディストリクト・リーダーシップ・プラン) を検討する旨の要請

がありました。現在 RI 理事会によりガバナーは地区組織を構成するうえで DLP の構成に準拠したものを確立するよう要請されています。このことは現在会員減少に悩むクラブにとって、少ない会員数の中でどの様にすれば活性化するかを検討したものであります。即ち従来の 4 大奉仕委員会をベースに取り組もうとすると一人で何役もこなさねばならない現実に突きあたります。そこで思い切った組織改革を考えようと取り組んだのが DLP です。具体的に申せば

- (1) 社会奉仕プロジェクト、国際奉仕プロジェクトに関しては全て「奉仕プロジェクト委員会」なる新組織で統括する
- (2) 増強を目的とした会員増強・退会防止委員会を新たに組織し会員選考や職業分類も含めた活動を行う。
- (3) 地域の人々に私たちの活動を具体的にお知らせする広報公共イメージ委員会を新設しロータリーの友委員会や会報委員会ともコラボレートする活動を行う。
- (4) 親睦、出席、プログラムなど運営に関わる委員会は旧来のロータリー情報委員会をクラブ管理・運営委員会と変えこれら全てを統括する。

以上 4 つの常設委員会と呼ばれる組織に大きく変えたのが DLP です。

青少年、財団、米山は旧来のままです。このようにする事により少ない会員のクラブでも活性化できるのではとの考えからこれが CLP に繋がればと考えたのではと思います。しかしこれを行うのはあくまでもクラブ自身です。実際の活動はクラブであり会員皆さんが主役なのです。

わたしは先程 RI が DLP を中心にした地区組織検討するよう云われておると申しましたがこの DLP の先に皆さんの CLP があるとお考えください。ここが重要で今まで CLP のみ導入しろと話されても目的が見えなければ解らなくとも当たり前です。ですから今年度はまず地区組織を変え活動内容と目的をはっきり示すことにしました。ロータリーは単年度制ですから来年また従来の地区組織に戻るかも知れません。ですが私は次年度の櫻木エレクトにこのことだけは変えないで欲しいとお願いしております。くどい様ですがガバナーとして、クラブの皆さんの理解を得ながら変革を試みようと考えています。研修リーダーにもお願いし、DLP の確立のもと各クラ

ブでそれぞれ、独自に検討、取り組まれている CLP (クラブリーダーシッププラン) の明確化に繋がればと考えています。この後のクラブ協議会でも CLP の目的と地区における DLP の位置づけから何故、今必要なのかなど、ご意見を伺えればと思っております。

1905 年の発足以来一世紀を越えるロータリー活動には、時代の変化と共に変わった部分もあると思いますが、変わらぬ原点は職業奉仕にあると考えます。私にとってロータリーとは、自らの職業を通しての倫理運動であり地域社会への貢献を基本に根ざすものであると考えます。定款にも「ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある」と明記されております。ロータリアンを侍に例えた場合、職業奉仕とは、武士としての象徴を示す刀のような存在と思っています。侍は研鑽を重ね武士となり、帯刀を致しますが但しこの刀は戦(いくさ)の道具では無く、武士としての気構えの象徴です。ロータリアンの持つ刀は、自分を律する気持ち、又は誇りとして、自らの心の中に置いておくべき物でありロータリアンの心に宿る刀はロータリアン同士の厚い信頼関係に基づく不可能を可能に変える存在だと思えます。キーワードは「和して同ぜず」です。「和する」すなわち友となり仲間となることは大変すばらしいことであり皆で一緒に取り組み大事を成す事は大切です。しかし同時に、「同ぜず」が大切に「他人の意見に惑わされる事無く、自分の意見をしっかり持たねばならない」と考えます。「自らの職業に基づく人としての信頼回復」と「和して同ぜず」の 2 つをモットーにロータリーの復活による「原点回帰」を次年度テーマに、皆様の御協力のもと地区運営にあたってゆきたいと思えます。ロータリーは今やっていることだけを未来永劫変えることなく、続けてゆくという考え方から、変わりながら続けてゆく事の大切さを、改めて考えて頂きたいと思えます。ロータリアン同士、職業奉仕を心に携えてゆけば、ロータリーは再び新たな羽根を持ち大空に飛び立てる時が来ると確信しております。

会員増強についてホァン会長は新会員を引き付けつけると共に、現会員を維持し、世界で 130 万人への会員拡大を目標にされています。会員増強について、会員数の数字だけにこだわり「数は力なりの原則のもと、会員を増やせ増やせとスローガンが掲げられますとすぐさま反発する形で「質」と「量」の

議論が発生します。更に悪いのは、質か量かという命題を並べて、出来ない理由を議論し、やらない理屈を語る事です。増強問題は出来ない理由を語るマイナス発想ではなく、まずやろうとするプラス発想からのスタートが大切だと思っています。今年度の増強目標は地区に因んで 2790 名とし、各クラブに純増 1 名をお願いします。広報公共イメージ活動でロータリーがどのような活動をしているのかを地域社会の人々に知ってもらえるよう、「ロータリーデー」を開催して下さることを願っています。そこで私たちは、社会貢献という共通意識のもと、互いの絆を深め、時間、才能、資金を注いで活動するグループであることを広報下さい。私たちは「行動の人」であり、同じ目的意識を持つ人たちと協力して、地域社会が直面する問題を解決しようと努めていること、同じ様に地域社会のことを考える人びとを見つきたいと願っていることを伝えることが重要と考えます。にもかかわらず、認知度が低いと感じます。ロータリーが何を目的とし、何をしているかを知らなければ、入会しようという人や、協力しようという人がいないのも当然です。確固とした、好ましい公共イメージは、単にロータリーの気高さを高めるだけで無く、それによって奉仕志向の会員が増え、ロータリーの活動をさらにレベルアップする重要な戦略だと思います。青少年奉仕活動について地域の方々及び学校教育機関の協力、顧問教師の方々の思い、御父兄の理解が必要で、信頼関係が無ければ成立しません。インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ライラ等での四委員会が「ロータリーデー」への参加を通じ、それぞれどの様にして地域社会との融合を保つ参加が可能なのか御検討下さい。未来のロータリアンを育成しましょう。米山記念奨学会事業は日本で学ぶ外国人留学生にロータリアン自身による寄付金を財源とした奨学金を支給する事業で、日本独自の特色である「カウンセラー制度」「世話クラブ制度」が重要であると考えます。クラブとして「世話クラブの登録」「カウンセラー登録」を理解いただき、ぜひ米山記念奨学会への寄付目標である通常寄付と特別寄付の合計で一人 15,000 円達成をお願いします。最後にポリオ撲滅に関して 1979 年に始まったポリオ撲滅運動も 35 年におよぶ活動で、世界で 3 ヶ国（パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリア）を残すのみとなりました。しかし本年 5 月 5 日に WHO はカメルーン、シリアなど非常在国からの発症報告に基づき「緊急事態宣言」

を出しました。医師団が内戦に巻き込まれるなど予断を許さない状況でもあり国際的連携と取組みが求められています。当地区では毎年 1 人あたり 25 ドルをお願いしております。

クラブ協議会



各委員長から活動計画報告

(五大奉仕部門の担当委員長より活動計画を報告)

クラブ奉仕委員長	渡辺 孝文
職業奉仕委員長	越川 博光
社会奉仕委員長	前川 成吉
国際奉仕委員長	石田 喜一
青少年奉仕委員長	上原 広嗣

ガバナー総評

皆様方は会長さんのご指導の下、各クラブに合った活動をなさっているわけでございまして、私のほうからガバナーとしての意見を申すことはなく皆様方の委員会は順調に活動なさっている事と拝復できますので、何点か質問があったものについてお答えしていこうと思っております。

クラブ奉仕委員会…縁の下の力持ち、クラブをまとめていくのがクラブ奉仕委員会

増強… 3 人ほど当てがあるとの事ですが、決して急がず、増強することよりもいかに退会者を出さない事がよほど大事。「和して同ぜず」一人ひとり自分の変わらない意見をきちんと持つこと、私の提案です。2714 名からスタートし、9 月の段階で 2794 名、目標 (2790 名) 突破しました。今年の 12 月までにはおそらく 2800 を超える会員が入会するのでは。新しく入ってきた会員をいかに辞めさせないか、いかに速く彼らにロータリーの事を纏わせられるかという事が大事。絶対退会させない事がクラブとしての最大限努力すべき点ではないか。

職業奉仕委員会…唯一私共がもっている理念。ものを与える事は簡単なボランティア活動で、そこに自

分の職業を通してという言葉が入るか入らないかというものがよほど大事で注目すべきこと。代表的な職業奉仕の例として、大阪で万国博覧会の松下館が月の石を展示したことで非常な人気を集めました。ある時、松下幸之助が列の一番後ろに並ばれ、2時間半かかって松下館に入り、入るや否や役員を呼び、この館に入るのに2時間半かかっている。いったいどういう事だ。お前たちは何を考えているのだ。と叱り、半分の1時間で入れるよう工夫する事、更に1時間の長い間、待つて頂くあいだに休憩所を用意しろと二つの指示をした。帰り際秘書にきちんとやっているか検証すること、そしてもう一つ並んでくださる方々に必ず簡単なものでいいから日よけの帽子を差し上げなさいと付け加えたそう。担当役員は時間を短縮、休憩所を作り、紙で作った帽子を列に並ぶ方々に配った。結果として松下館に入ろうとした方々はその帽子を被り、松下館を出てもその帽子を被ったまま地下鉄に乗り、バスに乗り、家までたどり着いた。自然のうちに松下館がその帽子とともに一躍有名になったというお話です。これは宣伝のためではなくお客様のためを思ってやった行為で職業奉仕がどんなものであるかということを端的に物語っていると思います。我々が日々お客様の事を思ってする行為一つ一つについては自分の会社の後継に寄与する事でロータリーの力の復権がそこに出てくるのではないかと。匠の技があると私は信じております。それぞれが持っている自分の匠の技を磨き社会をもっと良くする事。他の匠の技までを奪う事をしてはならない。一軒のスーパーによって町の商店が消えてしまった。大量生産をして浮いた分を価格に反映させて安く売ってしまおうとしたのが日本で、これはどこかで誤りを生んでいる。我々はもう少し時間を戻し匠の技というものをもう一度磨き自分たちの子孫に伝えなければならない。すべてがコンツェルンという三角形のピラミッドの中に入ってしまうととかくそういう事が起きてしまうのでは。我々一人一人が和して同ぜずの世界を持たなければならない。ロータリーが100年を迎え折り返し点に来ている。4人から始めたロータリーに戻さなければならない。今後クラブの中で十分ご協議頂いた中でロータリーがあるべき姿を考えて頂きたい。社会奉仕委員会…AEDで財団の補助金を使って頂き非常にありがたいと思っております。ロータリーデーやいろいろな行事を通じて地域の方々にご理解

いただくことで、ロータリーがそんなことをやっているなら協力するよという動きが出で来れば。財団・米山…今までの長期留学生はやめて短期に変えた。子供たちを海外に送り出し往復2ヶ月の間に英会話を習得しこれが後々の外国の人たちとの交流につながっていけば。アジアの奨学生は少なくなり、ヨーロッパ、南米の生徒が増えてきている。次の世代に向かって何をするかという事を見据えた行動をしております。

□質疑応答がありました。

■ ニコニコボックス

川島宥君

…二矩子夫人が去る11月8日～9日に行なわれた横芝光町文化祭に書道と絵画の作品を出品されたので

青柳誠君

…宇佐見ガバナーようこそ

奥様誕生祝いありがとうございます

椎名鏖一郎君・越川忠君・向後雅生君・富一美君
鈴木恭一君・内田裕雄君・小林定雄君・石田喜一君
前川成吉君・古西弘和君・行木英夫君・市原豊彦君
伊藤元雄君・小川佐内君・小杉秀文君・渡辺孝文君
安藤卓造君・小野田行伸君・上原広嗣君
鈴木匡哉君

…宇佐見ガバナーようこそ

土屋俊夫君

…プロゴルファーとラウンドしました

ガバナー補佐諏訪武士様より

本日計	30,000円
累計	443,050円

■ 出席報告

例会日	会員数	出席	出席率に用いる数	%
11月13日	35	27	33	81.82

☆ 欠席をしたらメーカーアップをしましょう ☆



懇親会 (あづま庵)



諏訪ガバナー補佐 41 歳のお誕生日
おめでとうございます

乾杯のご発声 第 47 代会長 石田喜一会員